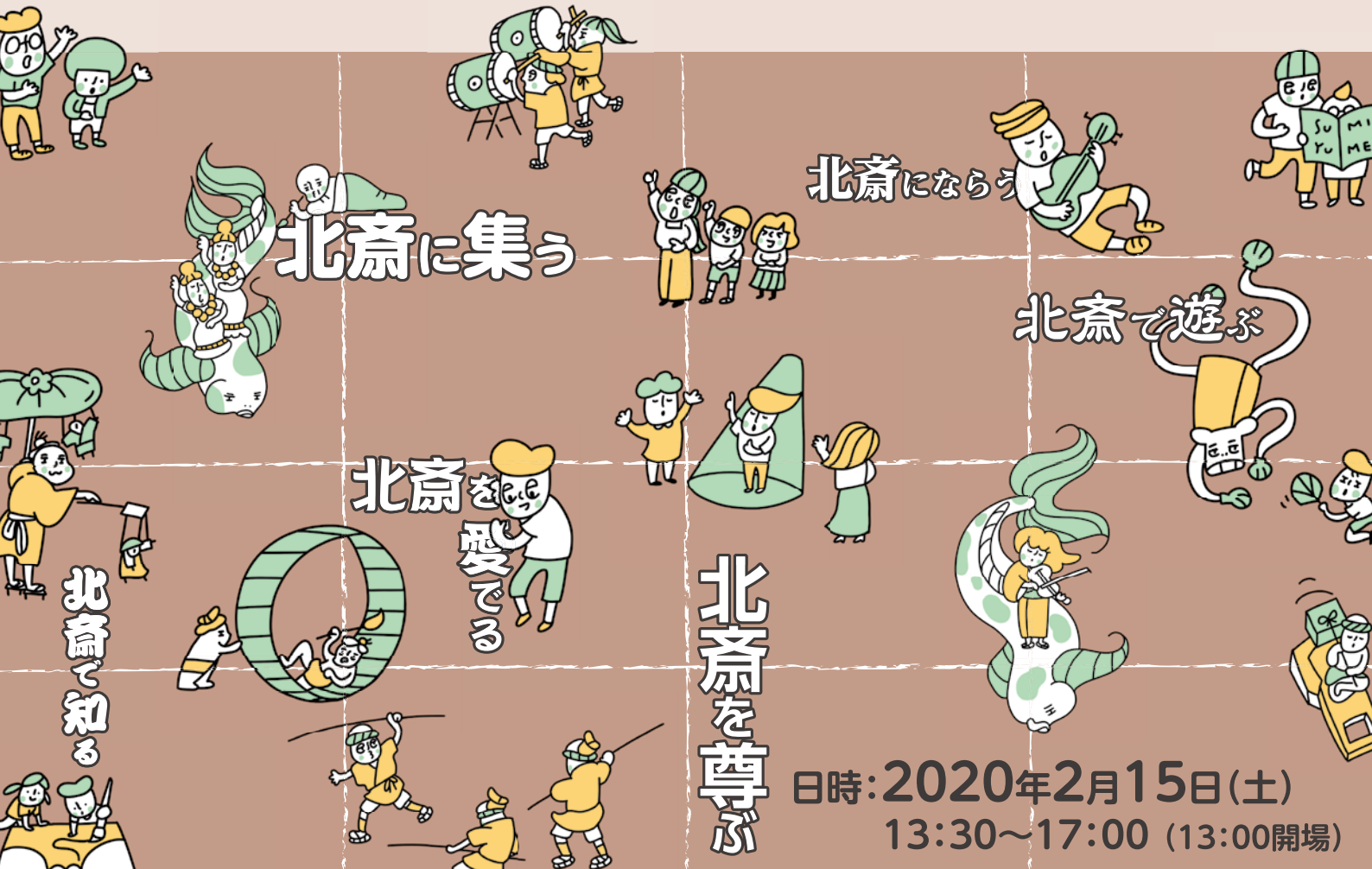


北斎生誕260年、 2020に何ができるか!?

「隅田川 森羅万象 墨に夢」2019年度 活動報告会 & シンポジウム



日時: 2020年2月15日(土)
13:30~17:00 (13:00開場)

申込方法(事前申込制・先着順)

- ※申込受付開始日 2019年12月25日(水)
- ※以下の必要事項①~⑥をご記入の上、WEB、はがき、FAXのいずれかでお申込ください。
- ① 参加イベント: 第一部すみゆめ報告会 / 第二部シンポジウム(複数申込可)
- ② お名前
- ③ ご住所
- ④ 年齢
- ⑤ 電話(当日連絡のとれる番号)
- ⑥ メールアドレス

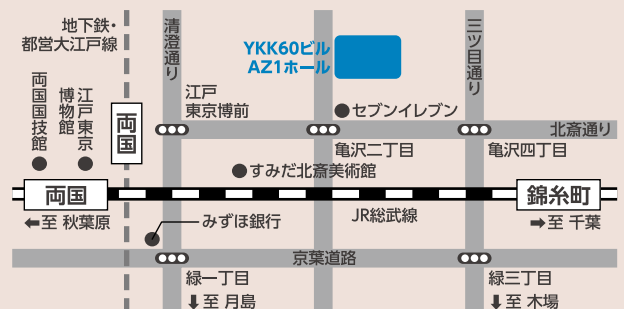
[WEB] <http://sumiyume.jp/event/20192300/> よりお申込ください。

[はがき] 往復はがきで、往信面に必要事項、返信面に住所・氏名をご記入のうえ、次の宛先までお申込ください。

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23-20 墨田区文化芸術振興課

[FAX] 103-5608-6934 (墨田区文化芸術振興課) までお申込ください。

会場: YKK60ビル AZ1ホール (墨田区亀沢3-22-1)



都営地下鉄大江線「両国駅」A2・A3出口より徒歩約7分
JR総武線「両国駅」東口より徒歩約15分
JR総武線「錦糸町駅」北口より徒歩約17分



問い合わせ先
墨田区 文化芸術振興課 TEL:03-5608-6115 (平日8:30~17:00受付)
※年末年始 12/28~1/5 は除く。

主催: 墨田区、「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
特別協賛: YKK株式会社
※「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会の事務局は(公財)墨田区文化振興財団が担っています。



北斎生誕260年、2020に何ができるか!?

「隅田川 森羅万象 墨に夢」2019年度活動報告会&シンポジウム

日時:2020年2月15日(土)13:30~17:00(13:00開場)

定員:150名

参加費:無料

【第一部】 「隅田川 森羅万象 墨に夢」2019年度 活動報告会

13:30~15:00(90分)

「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称すみゆめ)は、すみだ北斎美術館の開館を機に、2016年に始まったアートプロジェクトです。毎年秋にメイン期間を設け、「隅田川」と「北斎」を主なテーマとして企画を募り、まちなかや親水テラス、公園や商店街などで多彩な活動を展開してきました。さらに参加団体や地域のネットワークを形成すべく、交流プログラムや毎月の「寄せ」を行い、相互連携による活動も促しています。

4年目となる「すみゆめ」では、地域リサーチから生まれる音楽やダンス、演劇やパフォーマンス、地域主体のお祭りまで、主催企画と公募によるプロジェクト企画全21件を実施しました。本報告会では、参加団体からの発表を通じてその成果を共有し、今後に向けた課題を探ります。



〈2019年度プロジェクト企画参加団体〉

- EAST MEETS EAST実行委員会 ●旧水路ラボ&暗渠マニアックス ●劇団M.M.C
- 古今亭菊千代一座 ●ずぼんぼプロジェクト ●すみだパークスタジオ演劇部・扉座大人サテライト
- NPO法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会 ●点字物語「天の尺」実行委員会
- NPO法人トッピングイースト ●アゼ ●北斎通りまちづくりの会 ●北斎ヨガ実行委員会
- 向島国際デザインワークショップ2019実行委員会 ●一般社団法人もんでん ●柳生二千翔

【第二部】 シンポジウム「すみだと北斎 - 文化資源が磨く地域力」

15:10~17:00(110分)

アメリカ『Life』誌が1998年に行ったアンケート「この1000年間で最も偉大な功績を残した世界の100人」で、日本人では唯一選ばれた葛飾北斎。パスポートや新紙幣に「富嶽三十六景」が採用されるなど、近年あらためて注目が集まる中、その90年に及ぶ生涯のほとんどを過ごしたすみだの地で、私たちは北斎から何を受け継ぎ、どのように日々の営みを彩ることができるでしょうか。世界的なコンテンツである「北斎」、そして江戸文化を育んだ「隅田川」を資源としながら、アートでつながるコミュニティを育み、地域の魅力を磨き上げていくための方策を語り合います。

「隅田川怒涛」という音楽フェスがあるらしい

新たな注目スポット? 北十間川・隅田公園

すみだ北斎美術館ではどんな企画が?



上町祭屋台天井絵「女浪」
一般財団法人北斎館



石綿 祐子

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京 企画室 オリンピック・パラリンピック文化戦略担当課長
シンクタンク、広告代理店を経て、2012年より「アーツカウンシル東京」プログラム・ディレクターとしてカウンシル事業の立上げ、また2015年より、現職にて2020年に向けた文化プログラムの立上げと実施を担当。鋭意事業推進中。



太下 義之

文化政策研究者
博士(芸術学)。独立行政法人国立美術館理事、公益社団法人日展理事。東京芸術文化評議会委員。2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進委員会副理事長。アーツカウンシル新潟アドバイザー。鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。



新川 貴詩

美術ジャーナリスト
早稲田大学第一文学部卒業、同大学院情報通信専攻修了。出版社に勤務した後、執筆活動を開始。新聞や雑誌などに主に現代美術や舞台芸術に関する文章を発表。編集者や学校教員、2016~18年には「すみゆめ」の選考委員を務める。

撮影 松蔭浩之



橋本 光明

すみだ北斎美術館館長
信州大学名誉教授、前長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、東山魁夷記念財団評議員、小山敬三美術館運営委員長等。文科省特定課題委員会主査(北斎作品等の課題・調査研究)、大学美術教育学会理事長、日本学術振興科学研究費専門委員、文部省学習指導要領[美術]作成委員会主査他多数歴任。